

新人看護師からのメッセージ

最初は基本的な技術を入所者さんに負担のないように実施出来るか、入所者さんとどのような関わり方をすれば良いか分からず不安でいっぱいでした。先輩方に丁寧に指導して頂きながら採血などの専門的な技術も少しずつ身に付ける事ができ、自信につながっています。入所者さんから「ありがとう、あんたは良い看護師さんやね」と声をかけていただいた時には、自分の関わりが入所者さんに届いていたことを実感し、とても嬉しく、やりがいを感じました。まだまだ観察力や業務の優先順位の付け方など課題は多いですが、先輩方にご指導を頂きながら入所者さん一人ひとりに寄り添った看護を実践していきます。

新人看護師 病棟勤務



この春、初めて臨床の現場に立ちました。入職してから不安と緊張を感じることも多いですが、親身になって話を聞いて下さったり、不安な技術練習に付き合って下さる先輩看護師さんがいます。おかげで少しずつ技術や知識が身につき、仕事が楽しくなってきました。そして何より患者さんが名前を覚えて下さったり、「ありがとう」と伝えて下さることが一番大きな励みになっています。充実した生活が送っている今に感謝しながら今後も頑張ります。

新人看護師 病棟勤務



私はハンセン病の歴史や看護に興味があり、愛生園へ入職しました。看護を通して、語られる言葉がすべてではなく、言葉にしたくない思いや背景があることに気付きました。同時に、その境界線を守りながら信頼関係を築くことの難しさを感じています。今後は声に耳を傾けるだけでなく、言葉にされない部分を汲み取れるまなざしを育み、入所者一人ひとりの、その人らしさを尊重した看護を実践していきたいと思います。

新人看護師 病棟勤務

